

## 編 輯 後 記

湾岸戦争の開始というとんでもない年明けとなってしまった。流血と荒廃、日常生活の圧迫、自衛隊の海外派遣等々、気の重くなることばかりである。一日も早く和平への道をさがしてほしいものである。

さて、総合郷土研究所紀要36輯をお届けする。本年度は論考5編、研究ノート2編、史料紹介3編、書評1編の寄稿を得、多分野に亘る充実した構成とすることができた。御協力に御礼申し上げる。今年度は特別な共同研究等の計画は組まず、やゝ地味な活動となったが、長年所員として御活躍願った川越淳二氏による『家族と地域社会—その存在形態と

意識形態—』を研究叢書6として刊行することができた。又、懸案であった蔵書整理も一応の目途がつくところまで来た。地域研究のための資料を蓄積し、研究者に公開してゆくことは、本研究所の重要な使命の一つであろう。古文書をはじめとしてすでに集められた資史料の類も相当の量にのぼっている。その一部の展示公開をも含めて、これらを活用しうる体勢を早く作りたいものである。一朝一夕というわけには行くまいが、努力して行きたいと思う。

1991年1月

(C. T)

### 愛知大学総合郷土研究所紀要 第36輯

1991年3月15日

[非 売 品]

編輯代表 藤田佳久  
印刷所 富士印刷株式会社  
豊橋市前畑町37  
発行所 愛知大学総合郷土研究所  
豊橋市町畑町1-1